



登立小だより

卯月号



登立小HP
文責 校長

本年度は「のびっ子、スーパー小学生への道を進む」の巻です

咲き誇った桜の季節が過ぎ、新緑の美を感じる頃となりました。二九人の一年生を迎え、児童一六六人、教職員二六人で、令和八年度のスタートを切りました。一致団結し、より活力ある学校づくりに努力いたします。本年度は「のびっ子、スーパー小学生への道」を掲げ、教育指導を展開します。子供たちは、「すすんで、自分で、自分たちで」の合言葉のもと、学校生活の工夫と改善に動き出します。ワクワク、ドキドキと胸の高鳴りを感じながら、登立小が動き出しました。私たちは、すべてを子供たちの成長、幸福の実現に向けて、誠心誠意、教育指導を展開していきます。その中で一人一人が光り輝き、ときには、きつくてもぐつと歯を食いしばり、たくましく努力を重ねる強さをもったのびっ子の育成を進めて参ります。皆様方の深いご理解、ご支援、ご協力 あつての登立小の教育活動です。多々ご無理申し上げることがあるかと思いますが、どうぞ、よろしくお願いいたします。

本年度教育指導の重点について

育成を目指す 資質・能力	自律の姿 ※方法を選択し、物事に主体的に取り組むことができる児童個々の自律	○自分が判断して決めた事柄を率先して行おうとする態度 ○強制を受けず、自分が立てた規律に従い行動する力
Target	意識の変革と態度化	[児童の意識(態度)] ○自分で判断して決めよう(決める) ○決めたことはすすんで行おう(行う) ○指示や強制されずに、自分が立てた方法で取り組みたい(取り組む) ○それが自分の力をのばすもっとも良い方法だ(実践する)
Way	選択できる力 自己調整する力	○ゴールを見据えること、そのために全体像をとらえること ○目指す姿をイメージできること、そのためにメタ認知を高めること ○自分の学びを学習状況に応じて修正できること ○自己開示できること、そのために環境の心理的安全性を確保すること
Slogan	すすんで、自分で 自分たちで	○「主体性に培うことで高まる学び・生活・人間関係」と理解し、指導支援する
学び	すすんで、自分で、自分たちで 課題の解決を通して、自分の学びを実践する	
生活	すすんで、自分で、自分たちで 生活上の困り感から解消のルールを決め、実行する	
人間関係	すすんで、自分で、自分たちで 仲間意識を高め、自己肯定感と自己有用感を実感する	

のびっ子がめざす「スーパー小学生」の定義

- 心力(精神力・自己管理能力) : 単なる「素直な子」ではなく、周囲に流されず、自分を律しながら他者を尊重できる心の体力を備えている。
 - メタ認知能力
自分の弱点や感情を客観的に把握し、「なぜ失敗したか」「次はどうすべきか」を論理的に分析できる。
 - 集中力と没頭
誰に言われるでもなく、短時間で深く没入できるスイッチの切り替えができ、一つの物事に深く取り組める。
 - 目的意識の堅持
「将来こうなりたい」というビジョンが明確で、そのために今何をすべきか(誘惑を断つなど)を自分で判断できる。
 - レジリエンス
失敗しても過度に落ち込まず、「次はどうすればよいか」と切り替え、考えて挑戦できる。
 - 高い共感性と品格
相手の立場を理解して行動でき、損得抜きに誰にでも礼儀正しく接することができる。



- 学力(思考力・探究心) : 教科書を使いこなし、「知識を道具として使いこなす」段階に達している。
 - 自学の技術
分からないことがあったら、ネットや本、そして、他者活用を駆使し、未習得の分野でも、自ら情報を得て習得していくという学び方を身に付けている。
 - 知的好奇心の幅と深さ
「これだけは誰にも負けない」という専門領域(算数、社会、理科、あるいはPCスキルなど)をもち、大人(教師)と対等に議論できる。
 - アウトプット型学習
知識を蓄えるだけでなく、作文を書く、自分の考えをプレゼンをするといった「形にする力」がある。
 - クリティカルシンキング(批判的思考)
「なぜこうなるのか?」と常に疑問を持ち、既存の答えを鵜呑みにせず多角的に考察できる。

「自分がやりたくてたまらない」という内発的な動機がこの三つの要素を爆発的に成長させていることがポイントです。

これら三つを兼ね備えた子は、自分の機嫌を自分で取り、自分の生活を自分で送ることができます。「心技体」ならぬ「心学健」です。一つの項目が突出しているよりも、これらが互いに影響し合って相乗効果を生んでいる姿が理想的です。

- 健康力(体力・生活基盤) : すべての活動の土台となる、エネルギーに満ちた身体を備えている。
 - 自己管理能力
早寝早起き、バランスの良い食事、適切な運動を「自分のパフォーマンスを上げるため」に自発的に行える。
 - 基礎体力と姿勢
長時間の学習や激しい運動に耐えうるスタミナがあり、常に正しい姿勢を維持できる(体幹の強さ)。
 - 質の高い睡眠習慣
脳を休ませることの重要性を理解しており、翌日に疲れを残さない生活リズムが確立されている。
 - 五感の鋭さ
デジタル画面ばかりでなく、外遊びや自然体験を通じて、直感やバランス感覚を養っている。



歓迎遠足にて

のびっ子の輝き

Noboritate.es
School life scene

のびっ子のたしざん ～6年生は手本～ 始業式にあたり、のびっ子たちに次のように話しました。「のびっ子は、これまでの経験を生かすことができる賢い子供たちです。だからこそ、できるようになったことを力にして、新しいことにも挑戦していきましょう。これからの学校生活では6年生が最上級生として、常にその姿を示してくれます。のびっ子たちの憧れは、まさに6年生の姿そのものです。返事やあいさつ、歩き方、ルールを守る言動など、日々の一つ一つが手本となります。頭と心を使い、自分のことだけでなく、周りのことにも目を向け、広く高い視野をもって学校生活を送ってくれることでしょ。緊張することもあるでしょう。毎日くたくたになることもあるかもしれませんが、それでも、6年生がいてくれることで、のびっ子全員の成長があります。6年生のみなさん、どうぞよろしくお祈りします。共に前へ、一步一步、確実に進んでいきましょう。



入学式～のびっ子の仲間入り～ 4月9日、29人の子供たちが入学しました。全員、元気に、そして笑顔で式に参加しました。式には、のびっ子全員が臨席し、1年生を迎えました。とても立派な態度で、先輩としての自覚の表れを感じました。式辞では、三つの木「えがおの木」「げんきの木」「いのちの木」が開校以来、登立小を見つめていること、そして、三つの木に、大きく、美しい三つの花「笑顔の花」「元気の花」「命の花」を咲かせてほしいと伝えました。そんな1年生も入学から2週間が経ち、日々成長しています。楽しく学校生活を送り、給食もモリモリ食べています。皆様、黄色い帽子の子供たちを見かけられたら、安全な登下校へのご支援とともに、頑張り成長を認める働きかけをよろしくお願い致します。



のびっ子たちは、喜びの言葉で迎えました！



元気も、あいさつも、立派な1年生！！

歓迎遠足に出かけました。総合運動公園までの約5kmの道のりを春の風景、街並みを見学しながら、楽しく歩きました。出会う方々の声援を受けながら、笑顔であいさつを交わす姿がとても清々しく感じられました。1年生の黄色い帽子と6年生の大きな姿が並ぶと、6年間の成長の過程を感じ取ることができました。心配された降雨もなく、往復約10kmを歩き切ったのびっ子たちでした。そのエネルギーは「お弁当」です。保護者の皆様方に、心より感謝申し上げます。

防災への取組を進めました。地震・津波の発生を想定した避難と避難時の対応です。事前学習を済ませたのびっ子たちは、疑似サイレンと同時に避難行動をとりました。その後、第一次避難所まで、駆け足です。上へ上へと全員が坂を駆け上りました。互いに「頑張れ」「もう少し」と励まし合いながら進みました。集会では「命を守るのびっ子は『よくできた。100点満点』といえるスーパー小学生だ！」をテーマに活動を振り返りました。災害時のキーワードとして「決めつけない」「ベストをつくす」「トップでにげる」を頭に入れた行動をとる事を確認しました。



防災への食育

命のワード
①決めつけない
②ベストをつくす
③トップでにげる



防災へのスキルアップ



防災への行動

のびっ子への誓い 私たちは、のびっ子たちの安心安全を保ち、豊かな学校生活の実現に向けて努力を続けます。始業式で誓った我々登立小の教職員の誓いです。子供たちの教育活動とともに、それぞれの指導技術のスキルアップ、教育理念の共有、人間性の向上への研修を続けていきます。

「先生たち」は…！

みんなが
そんな損をしないように
とく得をするように

みんなが
しあわせを感じられるように



緊急対応への学習会の様子



転入及び職員紹介 本年度は7人の教職員の転入がありました。転入者一同、真心を込めて、精一杯、子供たちの教育にあたる所存です。皆様方には、留任者と併せて、ご支援いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

【転入職員】

- ◇教頭 尾上忠宜〔市教委より〕
- ◇教諭 中野聖規〔上小より〕
- ◇教諭 田中一路〔本渡北小より〕
- ◇講師 西中慈音〔新卒〕
- ◇給食技師 山崎里美〔上小より〕
- 鬼塚和代〔大矢野中より〕
- ◇給食調理員 四藤明美〔上小より〕